

## 陳述書

グレゴリー・ストロングさんは20年以上付き合いのある友人です。私は、グレッグと奥さんに、1990年頃北京で会いました。その時、彼は大学に勤務しており、私は北京インターナショナル・スクールに勤務していました。

グレッグは私たち夫婦より1~2年早く東京に引っ越し、彼は青山学院大学に採用されました。私は1993年に東京に移転しセント・メリーズ・インターナショナル・スクールで仕事を始めました。こちらに来てからも連絡をとりあい、通常は年に2~3度会って食事をしたり、おしゃべりをしています。グレッグはセント・メリーズの大きなサポーターです。グレッグは毎年、セント・メリーズのカーニバル(学園祭)に来ますし、彼の生徒たちにも見学するよう勧めています。

食事中の会話は、普通の友人同士のおしゃべりで仕事の話、旅行、政治、本や映画家族の事、共通の知人のことなどです。この裁判が終わって、2010年11月29日と2011年5月18日の2回、彼と会って食事をしました。これ以外でも1~2度会ったかも知れませんが日付はわかりません。

グレッグは最初の組合デモからトラン氏と本校の争議をよく知っていました。カーニバルでトラン氏がデモ活動をしているその場にいました。グレッグはこれが裁判沙汰にまでなったことで大きなストレスがわたしにかかっていることを理解していました。会話のどこかで、わたしはグレッグに学校批判のブログやインターネット上のトラン氏のYouTubeビデオ(奨学金, 学校批判)の事など話しました。しかしながら、私は和解内容を知らされていないので、この裁判の和解内容を明かすことはありません。和解内容は学校長によって機密保持されています。

リンダ ウェイン  
2012年1月7日